

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公表番号】特表2002-524392(P2002-524392A)

【公表日】平成14年8月6日(2002.8.6)

【出願番号】特願2000-562377(P2000-562377)

【国際特許分類】

C 07 D 498/04 (2006.01)
A 61 K 31/4375 (2006.01)
A 61 K 31/4738 (2006.01)
A 61 K 31/5377 (2006.01)
A 61 P 31/12 (2006.01)
A 61 P 35/00 (2006.01)
A 61 P 37/02 (2006.01)
C 07 D 498/14 (2006.01)
C 07 D 513/04 (2006.01)

【F I】

C 07 D 498/04 1 0 5
A 61 K 31/4375
A 61 K 31/4738
A 61 K 31/5377
A 61 P 31/12
A 61 P 35/00
A 61 P 37/02
C 07 D 498/14
C 07 D 513/04 3 4 3

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月7日(2006.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

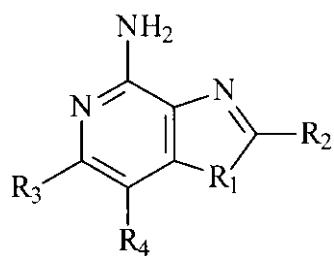
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 式I

【化1】



(式中、R₁は、酸素、硫黄、およびセレンからなる群から選択され；R₂は、

- 水素；
- アルキル；
- アルキル-OH；
- ハロアルキル；
- アルケニル；
- アルキル-X-アルキル；
- アルキル-X-アルケニル；
- アルケニル-X-アルキル；
- アルケニル-X-アルケニル；
- アルキル-N(R₅)₂；
- アルキル-N₃；
- アルキル-O-C(O)-N(R₅)₂；
- ヘテロシクリル；
- アルキル-X-ヘテロシクリル；
- アルケニル-X-ヘテロシクリル；
- アリール；
- アルキル-X-アリール；
- アルケニル-X-アリール；
- ヘテロアリール；
- アルキル-X-ヘテロアリール；および
- アルケニル-X-ヘテロアリール

からなる群から選択され；

R₃およびR₄は、それぞれ独立して、

- 水素；
- X-アルキル；
- ハロ；
- ハロアルキル；
- N(R₅)₂

であるか；あるいは、R₃およびR₄をひとまとめにして、R₃およびR₄が、縮合芳香環、ヘテロ芳香環、シクロアルキル環、またはヘテロ環式環を形成し；Xは、-O-、-S-、-NR₅-、-C(O)-、-C(O)O-、-OC(O)-、および単結合からなる群から選択され；ならびに各R₅は、独立してHまたはC₁₋₈アルキルであり；

但し R_1 が硫黄の場合、 R_3 は $-NH_2$ ではない。) の化合物あるいはその薬学的に受容可能な塩。

【請求項 2】 R_1 が酸素または硫黄である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】 R_1 が硫黄である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 4】 R_3 および R_4 をひとまとめにして、 R_3 および R_4 が置換されているまたは置換されていないベンゼン環を形成する、請求項 1, 2 または 3 に記載の化合物。

【請求項 5】 R_3 および R_4 をひとまとめにして、 R_3 および R_4 が置換されているまたは置換されていないピリジン環を形成する、請求項 1 または 2 に記載の化合物。

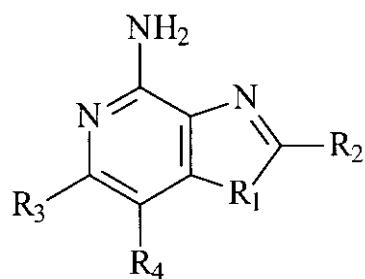
【請求項 6】 R_2 が C_{1-4} アルキルである、請求項 1 または 2 に記載の化合物。

【請求項 7】 2 - n - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン、またはその薬学的に受容可能な塩。

【請求項 8】 2 - メチルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - エチルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - ペンチルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - ブチルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - (1 - メチルエチル) チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - (2 - フェニル - 1 - エテニル) チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - (2 - フェニル - 1 - エチル) チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - (4 - アミノチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 2 - イル) - 1, 1 - ジメチルエチルカルバメート；
 2 - (エトキシメチル) チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - (メトキシメチル) チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - (2 - メチルプロピル) チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - ベンジルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 8 - メチル - 2 - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 (4 - アミノチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 2 - イル) メタノール；
 2 - メチルオキサゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - エチルオキサゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - ブチルオキサゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4, 8 - ジアミン；
 2 - プロピルオキサゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 8 - プロモ - 2 - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 7 - メチル - 2 - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - ブチル - 7 - メチルオキサゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 7 - メチル - 2 - プロピルオキサゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 7 - フルオロ - 2 - プロピルオキサゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 7 - フルオロ - 2 - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - プロピル - 7 - (トリフルオロメチル) チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - (4 - モルホリノ) チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - (1 - ピロリジノ) チアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 2 - ブチルチアゾロ [4, 5 - c] [1, 5] ナフチリジン - 4 - アミン；
 2 - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] [1, 5] ナフチリジン - 4 - アミン；
 7 - クロロ - 2 - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 7 - メトキシ - 2 - プロピルチアゾロ [4, 5 - c] キノリン - 4 - アミン；
 およびその薬学的に受容可能な塩、
 からなる群から選択される化合物。

【請求項 9】 治療有効量の式 I (a)

【化2】



I(a)

(式中、R₁は、酸素、硫黄、およびセレンからなる群から選択され；R₂は、

- 水素；
- アルキル；
- アルキル-OH；
- ハロアルキル；
- アルケニル；
- アルキル-X-アルキル；
- アルキル-X-アルケニル；
- アルケニル-X-アルキル；
- アルケニル-X-アルケニル；
- アルキル-N(R₅)₂；
- アルキル-N₃；
- アルキル-O-C(O)-N(R₅)₂；
- ヘテロシクリル；
- アルキル-X-ヘテロシクリル；
- アルケニル-X-ヘテロシクリル；
- アリール；
- アルキル-X-アリール；
- アルケニル-X-アリール；
- ヘテロアリール；
- アルキル-X-ヘテロアリール；および
- アルケニル-X-ヘテロアリール；

からなる群から選択され；

R₃およびR₄は、それぞれ独立して：

- 水素；
- X-アルキル；
- ハロ；
- ハロアルキル；
- N(R₅)₂

であるか；あるいは、R₃およびR₄をひとまとめにして、R₃およびR₄が、縮合芳香環、ヘテロ芳香環、シクロアルキル環、またはヘテロ環式環を形成し；Xは、-O-、-S-、-NR₅-、-C(O)-、-C(O)O-、-OC(O)-、および単結合からなる群から選択され；ならびに各R₅は、独立してHまたはC₁₋₈アルキルである。)

の化合物あるいはその薬学的に受容可能な塩と、薬学的に受容可能なキャリアを含む薬学的組成物。

【請求項 10】 請求項9に記載の組成物を哺乳動物に投与することを含む、哺乳動物のサイトカイン生合成を誘導する方法。